

夏期特別展 湘南ロケットフェア 関連行事

展示解説 学生による展示解説

内容：神奈川大学宇宙ロケット部と高野研究室、東海大学学生ロケットプロジェクトのメンバーが、展示中のロケットや技術的特徴について詳しく解説します。

日程：①神奈川大学 8月17日(日)

②東海大学 8月31日(日)

時間：各日午後1時～1時30分

場所：特別展示室 参加：自由

体験学習 水ロケットを打ち上げよう

内容：ワイヤーのレールに吊ったペットボトルロケットを自転車の空気入れを使って人力で発射します。濡れてもいい服装でご参加ください。荒天時中止。

日程：7月30日(水)、7月31日(木)、8月6日(水)

時間：午前9時～11時

(午前10時30分で受付を終了します)

場所：博物館屋上 参加：自由

プラネタリウム特別投影

ハイブリッドロケットの開発

内容：各大学のメンバーが、プラネタリウムの大スクリーンでロケットの開発や打ち上げについて詳しく解説します。

日程：①神奈川大学 8月17日(日)

②東海大学 8月31日(日)

時間：各日午後3時30分から4時20分

場所：博物館3階プラネタリウム 定員：70人

観覧料：無料 整理券：当日9時から受付で配布

プラネタリウム特別投影

リフトオフ!ロケット打ち上げを見よう

内容：ロケットの組み立てから発射までをじっくり見ます。欧米や日本の代表的なロケットたちが登場します。当日の星空も解説します。

日程：7月26日(土)、8月3日(日)、

8月9日(土)、8月23日(土)

時間：各日午後3時30分から4時20分 定員：70人

場所：博物館3階プラネタリウム 観覧料：200円

整理券：当日9時から受付で配布

神奈川大学

宇宙ロケット部と高野研究室



私たちは神奈川大学でハイブリッドロケットの研究開発を行っています。2014年に設立して昨年度10周年を迎えました。

2021年に学生ロケット団体やハイブリッドロケットとして日本一の到達高度10.1kmを記録し、2024年にハイブリッドロケットの飛翔速度の日本記録マッハ1.5を達成しました。同時にチタンタンクを含む機体の洋上回収に成功し、ロケット再利用の第一歩を踏み出しました。私たちの挑戦は高度100km到達、そして衛星の軌道投入まで続きます。

東海大学

学生ロケットプロジェクト



東海大学学生ロケットプロジェクト (TSRP) は、1995年に設立された学生主体のプロジェクトです。活動では、ハイブリッドロケットの開発を行っています。毎年、能代宇宙イベントや大樹町で行われる打ち上げ実験に参加し、到達高度記録の更新を目指しています。メンバーは機体設計、エンジン開発、電装系開発、広報活動など様々な分野の実践的な技術を学んでいます。現在は中間目標である10km到達へ向けて日々、ロケット開発を行っています。